

# 予算決算常任委員長報告

令和3年3月19日

今期定例会において、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案19件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

本委員会では、去る3月10日から12日及び15日から17日に委員会を開催し、10日には市長の出席を求め、会派代表による令和3年度予算に関する総括質疑を行い、また、16日には、総務、教育民生、産業建設の各分科会においてそれぞれ選定した重点項目について担当部局長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

議案第2号「令和3年度三次市一般会計予算（案）」外議案17件については、審査の結果、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

次に、議案第3号「令和3年度三次市国民健康保険特別会計予算（案）」については、審査の結果、賛成多数をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

はじめに各分科会主査報告の要旨を申し上げます。

総務分科会からは、DX・スマートシティ推進経費については、広く市民に事業内容や利便性をわかりやすく周知し、設計段階から他部署との協議調整や情報通信分野に詳しい市民との事業連携の検討を行うと共に、コストを上回る事業成果を求める経営感覚を持って取り組むことが必要である。

定住対策経費については、本市の空き家バンク情報サイトの物件情報だけではなく、買い物や通学距離等の生活関連情報等利用者目線を意識した情報提供や公営住宅の活用等引き続き調査研究を重ねられたい。また、今回提案されている移住コーディネーターが集落支援員、住民自治組織と協働し、本市への関係人口・ツナガリ人口の拡大、そして定住・移住に繋がる取組となることを期待する。

教育民生分科会からは、学校給食調理場整備経費については、地産地消の推進のため（仮称）学校給食食材安定供給協議会を新たに設立し、地産地消率30%を目指すとされているが、「令和3年度一般会計予算（案）」にはこれにかかる予算が計上されておらず協議会に対する取組が見えてこない。農林水産省の地産

地消コーディネーターの活用等も検討し、積極的な食育、地産地消に取り組みたい。

産業建設分科会からは、水道事業会計「水道広域連携」については、引き続き水の安全性を確保し、水道事業の広域連携を進めることを市民に十分に周知することが重要と考える。農業振興経費「農地等保全事業（有害鳥獣対策）」については、今後も捕獲に携わる人材の育成が必要である。観光推進経費「三次版DMO事業」については、DMOで「稼ぐ力」を創出していく事や、観光関係団体等の目指す方向の一つにしていく事を、市として提案していくことが重要と考える。

次に、全体会の審査において、各委員から述べられた指摘及び意見について、その主なものを申し上げます。

議案第2号「令和3年度三次市一般会計予算（案）」については、自治活動拠点施設管理経費の神杉コミュニティセンター改修工事にあっては、神杉地域の拠点整備に係るこれまでの取組の経過を踏まえ、地域との合意形成を十分に行ったうえで執行されたい。

土木費における事業は、災害復旧事業を優先するためにやむを得ず中断した計画について、災害復旧事業の進捗に合わせて積極的に再開を図られたい。

議案第8号「令和3年度三次市病院事業会計予算（案）」については、今後、厳しい財政状況の中で病院施設の改修等が必要になってくる。これに対応するための計画について検討されたい。

議案第9号「令和3年度三次市水道事業会計予算（案）」については、水道広域連携に当たって、将来的に水の需要に対し不均衡なく安定供給できること、災害に対する迅速な連携、負債整理を考慮した経営体制の確立を担保すること、施設の修繕・改修の計画的実施について、自主性を保ちながら公共サービスが低下しないよう協議を進められたい。

以上、述べました事項のほか、委員会審査において各委員から述べられた指摘及び意見についても、今後、施策に十分に反映していただくよう要望し、委員長報告を終わります。